

知らずに戦後を生きるのは  
許されない気がする。

平和はまもるだけでなく、  
つくりだすもの

人間がつくった兵器

人間の責任でなくさねば

地球上のすべての願い。

ひとつの爆だんが、

かく兵器が人の命を

たくさんうばってしまった。

このさきまた、戦争がおきないために

何かできることをしたい。

不幸をつくるのも

幸せをつくるのも

わたしたちだ

考える事しかできないけど、

その「考える」という事をしないと、

だれかがまた

同じようなことをしてしまう。

だから考えなくてはいけない。

原爆を落とされた日本も

落としたアメリカも

後になつてから、

「大変な事をしてしまった。」という思いを

決して忘れてはいけないことが

大切だと思いました。

世界でただ1つ、  
原爆を落とされた日本が、  
そのおそろしさを  
伝えていかなければいけない。



「知る、考える、伝える」

私達の世代で止まってはいけない。

”分からない“で終わってはいけない。

71年前のあの日、今の

”ふつう“な生活を

どんなに夢みたことか・・・。

頭のかたすみにおいておき、  
原爆のことを知らない人に  
教えられるようにして、  
人々が原爆を忘れないようにする

ある時、私と同じ年の子が、  
意味もないのに殺された。

原爆があつた事を忘れるのは、  
原爆に苦しんでいた人の気持ちを  
忘れるのと同じだと思ふ。  
だから、絶対に忘れてはいけない。

原爆は受けた瞬間もじごくだが、  
受けたあとも、ずっとじごく。

終わったことじゃない、原爆

山口 晴香  
14歳

原爆は、たくさんの人の  
人生も壊した。

その人たちが語る経験から  
目を背けてはならないと思った。

人生を原爆と生きた人がいた。  
その事実を忘れてはいけない。  
私達には絶対分からない辛さが  
原爆にあつた。



伝えることはとても大変である、  
しかし、その大変なことを  
伝えることによつて、  
未来を変えることはできる。  
今、私たちにできることを  
考えることが大切である

人は忘れる生き物だ、

しかし原爆は忘れてはいけない。

私達には分かることが

絶対にできない被爆者の方々の

苦しい苦痛な思いが時代を

超えてここにある。

そして、8月6日、9日は、

1度原爆のことを思い出し

人生をふり返り胸に手をあててみよう。

私たちにはあの恐さが、  
分からない。でも、忘れない、  
そして伝えることはできる。

被爆国にしか伝えられないものがある。

私達が考えないで誰が考える。

原爆を落としたアメリカも悪かったが、  
日本がもつと早くに戦争をやめていれば  
国民はもつと助かったと思う。  
だからどちらにも悪かった。

知ることは平和を創ることだ。

私達は知らない…。

知りたい、もつと知って考えたい。

もう二度とくり返さないために。



忘れるな、目をそむけるな。

いくら時間がたつても

事実が変わらない。

二度と使ってはならない、原爆。

原爆を落としていい場所など

この世界に1つもない。

三度目の原爆の日は

絶対につくってはならない。

原爆が落ちたのは71年前、  
0才の人が71才、  
伝える人がいなくなる  
皆で伝えようこの日のこと。

あの叫び、あの景色、  
何一つ忘れていいものなんて  
ないだろう。

なぜ同じ人間が

同じ人間に一生消える事のない

痛みを残すのだから。